

事業所向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		事業所が2階になっており手すりをつける、上り降りの際には職員が一緒に行うなどの配慮は行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			平成29年度よりガイドラインに沿ったアンケートを実施している。改善すべきは早期に対応している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		法人の理事会や苦情解決担当者に送付しご意見を伺っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			愛媛県が委託して実施している強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践研修）を受講している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			
	⑫	活動プログラムを固定化しないように工夫しているか	<input type="radio"/>			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事計画等の交換、子どもの下校時間の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			児が通学している学校の校長先生や担任の先生、児童発達管理責任者、相談支援専門員を必要時に連携会議を開催している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				利用該当者ない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要時連絡を取り情報の共有を図っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		相談支援専門員をとおして情報の提供を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要時発達支援センターと連携し支援方法のアドバイスを受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		意図的に活動プログラムを作成して交流機会は設けていないが、休日などには児童館に出向いていき利用している子どもと一緒に遊ぶ機会は設けている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等への積極的な参加しているか	○			児童発達管理責任者が専門部会員として参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お迎えに来られた時に直接伝えたり、連絡ノートを作成し児の様子を毎回伝えている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		県から委託を受けて地域で年1回開催されている「ペアレントメンター研修会」の参加を促している。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか	○			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談を適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者の意向を聞き検討したい。
	㉓	子どもの保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情の申し立ては現時点でないが、申し立てがあれば迅速かつ適切に対応し苦情処理マニュアルに沿って対応する。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			行事予定は毎月発行し併せてその月の個別活動の目的やねらいなど別紙で添付している。また「あゆむだより」として年2回程度発行し避難訓練の様子などを掲載している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			自分の意思が伝えられにくい児に対して個別に実物の写真を利用している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		行事に招待する等には行っていないが、随時見学者は受け入れをしている。またフェイスブックなどで活動の報告を随時実施している。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		感染症マニュアルは作成していないので、早急に対応したい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年1回の火災・風水害による避難訓練を消防署に来ていただき実施している。それ以外にも年1回事業所での避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	基本身体拘束は行わない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食事の提供は基本実施していないが、利用前に聞き取りを実施し外出行事やおやつなどを購入する場合は事前に保護者に連絡する。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有しているか	○			